

令和5年度 吉川市立北谷小学校 教育活動に関する調査(保護者集計)

評価項目	No.	質問事項	評価	結果の振り返り・考察・次年度への改善点等
			4点満点	
組織・運営	1	学校は、学校教育目標の実現のため、様々な取り組みに努めている。	3.3	おおむね肯定的な評価をいただきました。「様々なイベントをとり入れていて、たくさんの経験ができています」等、学校の取り組みを評価していただきました。また、3「トラブルへの対応」について、「学校内での子供同士のトラブルに適切に対応できている」というご意見をいただいた一方、トラブルの対応が十分ではないと感じた等のご意見もいただきました。「PDCAサイクル」や小中一貫教育については、「できていると感じているが、成果がわかりにくい」等のご意見もいただいています。学校評価は学校だよりやHP上で公表しておりますので、今後、小中一貫教育の取り組みや成果について、さらに情報発信していきたいと思えます。
	2	教職員はPDCAサイクルのもと教科指導や学級経営・校務分掌にあっている。	3.3	
	3	学校は事故やトラブルに対してのマニュアルを作成・掲示し、適切に対応している。	3.1	
	4	学校は清掃活動や掲示物等に力を入れるなど、組織的に環境美化に努めている。	3.3	
	5	学校は小中の連携を図り、小中一貫教育を推進している。	3.2	
と保護者の連携・協力	6	教職員はPTA活動や学校応援団の活動に積極的に協力している。	3.4	この項目については、全体的に高い評価をいただいております。PTA活動が充実しているとの声を多くいただきました。PTA役員様はじめ、活動にご協力くださった保護者の皆様、ボランティアの皆様にご心より感謝申し上げます。学校ホームページについて、「子供の様子がわかる」「更新回数が多く、楽しみにしている」等の評価をいただきました。地域人材の活用も、今後積極的に取り組んでまいります。
	7	学校は、学校の様子や成果を「学校だより」やホームページ、Home&Schoolアプリ等を活用し、積極的に情報提供している。	3.6	
	8	学校は地域の人材を活用するなど、保護者と地域が連携した教育活動を推進している。	3.3	
学力	9	児童は、落ち着いて学習に取り組み、学習内容を理解しようとしている。	3.2	学力向上は本校の重要課題です。今年度は、国語科の学力向上を校内研修の課題としました。「先生の努力で、教室が落ち着いた雰囲気の中子供たちが学習できている」、「算数の少人数指導などで、個に応じた学習ができています」という評価をいただきました。また、「埼玉県学力・学習状況調査」の国語の学力も4年度より向上しています。その一方で、「学級全体が落ち着いて学習に集中できるよう取り組んでほしい」等のご要望もいただいております。日々努力しているところですが、今後も組織的・継続的に子供たちが集中して学習に取り組めるよう努めてまいります。
	10	教職員は学力向上を目指し、PDCAサイクルのもと、児童児童の実態に基づいた授業改善に努めている。	3.2	
	11	教職員は一人一台端末を積極的に活用し、ICT活用を推進している。	3.3	
	12	学校は学習ルールを定めて授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたり、児童の学力を高めている。	3.3	
規律ある態度	13	児童は、友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができる。	3.1	「あいさつについてはよくできているが、言葉遣いに課題がある」とのご意見をいただきました。今後も教職員が手本を示し、家庭・地域と連携しながら言葉遣いについて今後も指導を継続する必要があると考えます。一方で、「教職員自らが手本となり…」の項目は、比較的高い評価をいただいております。保護者の皆様のご要望を受け、今後も教職員が率先して「背中の教育」を示し、全校で足並みをそろえた指導を行うことで、あいさつや言葉遣いを含めた子供たちの規律ある態度を高めていきたいと思えます。保護者の皆様のご協力もお願いいたします。
	14	児童は、生活のきまり・時間を守ることができる。	3.3	
	15	児童はいじめなどの行為をすることなく、お互いのよさや努力を認め合って、学校生活を送っている。	3.2	
	16	教職員は自ら手本となり、児童に対して規範意識を高める指導を行っている。	3.4	
健康・体力	17	児童は、体力向上に向け、保健体育の授業や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	3.4	今年度は小中一貫教育のテーマに食育を選び、全校で様々な活動を行っています。また、給食の残菜率が少ないのも本校の自慢です。この項目は、比較的高い評価をいただきました。その一方で教職員の働き方改革推進のため、業前マラソンができなくなったことを不安視するご意見もいただいております。その分、昼休みを使って、持久走や長なわの練習を実施しました。今後も工夫して子供たちの運動量の確保に努めてまいります。
	18	学校は、児童の健康管理および食育に関する意識を高めている。	3.4	
教 児 育 童 相 指 談 導	19	学校は、児童の立場に立ち、一人一人の思いや願いを大切に、児童に寄り添った対応をしている。	3.3	教職員が子供たちに寄り添っているという肯定的なご意見をいただいた半面、いじめに対して今後も十分対策をしてほしいというご意見をいただきました。依然として不登校児童へのケアも重要な課題です。生徒指導に関する情報を全校で共有し、組織的に継続して取り組んでまいります。
	20	学校はいじめや不登校をなくすため、生徒指導の充実を図っている。	3.1	